

Hans-Dieter Klingemann. 2009. "The Impact of Political Institutions : A Contribution of the "Comparative Study of Electoral Systems" (CSES) to Micro-Macro Theories of Political Attitude Formation and Voting Behavior." In Hans-Dieter Klingemann (Ed.), *The Comparative Study of Electoral Systems* (pp. 3-27). Oxford : Oxford University Press

ソングェヒョン
法学研究科 M2 宋財 滋

概要

- (新)制度論において看過されてきた領域
⇒制度はどのように、どの程度個人の政治的行動に影響を与えるかに関する比較研究
- CSES : 制度が政治的行動に与える影響を明らかにするため 1994 年発足
- 二つの目的
 - ①選挙の執行に関わる制度が市民の信条・行動をどのように規定するか
 - ②これらの制度が市民の選挙によって表出された民主主義の性質にどのように影響を与えるか
- マイクロレベルアプローチを採用(実際のデータセットにはマクロデータも含む)
- マイクロレベル(有権者)とマクロレベル(選挙制度)の間に存在する三つの因果関係経路
 - ①制度(IV)が有権者(DV)に影響
 - ②制度と有権者両方が独立変数
 - ③ある条件(CV)の下において制度(IV)が有権者(DV)に与える影響
- CSES Module 1
 - ・期間 : 1996 年 3 月～2002 年 3 月
 - ・対象国 : 33 カ国(うち 5 カ国は調査期間内に 2 回)
 - ・4 カ国は特定地域を考慮
 - ・27 回の国会議員選挙、4 回の大統領選挙、7 回の同時選挙

分析結果の要約

(1)投票参加 (Part III : Chapter 4 & 5)

- 第 4 章 : 社会経済的属性と棄権の関係
 - ・選挙制度、政党制、民主主義の年齢(定着度?)
⇒得票率と議席率の乖離↑ → 投票率↓
⇒有効政党数↑ → 投票率↑
cf)しかし選挙区定数が上がると相殺
⇒新生民主主義国家 → 低投票率
 - ・社会経済的属性と投票参加
⇒選挙制度と所得分布の影響は確認されず
⇒しかし個人レベルにおいて所得と棄権率の関係は GDP によって影響される
 - ・従来は個人の社会経済的属性が文脈の変数に関係なく投票参加に影響を与えられたが、本書ではマクロ的な文脈(国家の富)が両者の間に影響を与えることが確認
- 第 5 章 : 比例代表制と投票参加の関係
 - ・PR は得票と議席のギャップが小さいため小政党の支持者の投票参加を促す
 - ・議会内の政党数と投票率は正の関係
 - ・連立政権内の政党数と投票率は負の関係

(2)政党、候補者、争点 (Part IV : Chapter 6 ~ 11)

□第6章：二つの政党帰属意識

- ・従来のPID：特定政党に対する感情的態度を強調 (Single-party identification; S-PID)
 - ：他政党への態度および投票行動に影響
- ・新たなPID：複数の政党に対する帰属意識 (Multiple-party identification; M-PID)
- ・マクロ的文脈がPIDに与える影響
 - ①イデオロギー的に近い有効な政党が複数存在：M-PID
 - ②候補者より政党中心の選挙制度：S-PID
 - ③特定の代替政党の集合に露出：S-PID
- ・本章の問い①どれくらいの人々がM-PIDを持つか
 - ⇒平均的に約10%
 - ②特定のマクロ的文脈によってM-PIDはどう促進・制限されるか
 - ⇒選挙制度や政党制は影響を与えず
 - ⇒新生民主主義国家ではM-PIDを有する人が多い
 - ③投票先決定においてM-PIDはS-PIDよりどれくらい重要性を持つか
 - ⇒S-PIDの方がM-PIDより遥かに大きい影響
 - ⇒民主主義移行期の国においてM-PIDはS-PID確立への第一歩になりうる

□第7&8章：候補者要因

- ・相対/絶対多数制の下ではPRより候補者要因に重点を置くように(Chapter 7)
 - ⇒しかし制度による違いは有意であるが大きくはない
- ・選挙制度と議員の役割の関係に関する規範的議論(Chapter 8)
 - ⇒有意な結果は得られず

□第9章：回顧的投票

- ・選挙制度が回顧的投票行動に与える影響
 - ⇒議院内閣制は大統領制に比べ回顧的投票が行われやすい
 - ⇒SMDの方がMMDより回顧的投票が行われやすい
- ・社会福祉制度が未熟な国ほど経済的要因を重視するようになる

□第10章：イデオロギーと投票

- ・ダウンズの近接性モデルの検証(有意)
- ・しかしマクロ的要因により近接性モデルの程度は変化する
 - ⇒有効政党数↑ → イデオロギー投票↓
 - ⇒連立政権内の有効政党数↑ → イデオロギー投票↑
 - ⇒イデオロギーの分極性↑ → イデオロギー投票↑
 - ⇒イデオロギーの凝集性↑ → イデオロギー投票↑
- ・政治的洗練性と知識はイデオロギー投票を促進

□第11章：マクロ要因の個人レベルの投票決定要因への影響

- ・選択の対象(候補者、政党、大統領)によって有権者の選択基準が変動(トレードオフ関係)
- ・状況が複雑なり、選挙制度が有効になるほど有権者は選択基準を絞り、単純化する

(3)表現的(expressive)投票と道具的(instrumental)投票 (Part V : Chapter 12 & 13)

□第12章：マクロ要因が投票参加、投票決定、政治的情報取得に与える影響

- ・表現的投票：投票そのものに満足感を得る⇒Sincere votingに近い / 投票参加と関連
- ・道具的投票：自分の投票の政治的帰結に注目⇒戦略投票に近い / 投票決定と関連
- ・三つのマクロ要因
 - ①議席変換の乖離↑ → 道具的投票
 - ②政党の数↑ → 表現的投票
 - ③中央政府への無関心 → 表現的投票

- ⇒上記の三つの要因に有意な影響力は確認できず
 - ・マイクロ要因の影響力は多くの選挙で有意な結果
- 第13章：選挙区定数と戦略的投票
- ・従来の見解：PRの方が選好候補者・政党の当選の主観的確率が上昇 → 戦略的投票 ↓
⇒全国区のような選挙区で有効
 - ・しかし全国でなくても地域レベルにおいても小政党が大きな地盤を持ち得る
 - ・選挙区の定数と戦略的投票の比率の間で有意な負の関係が確認
- (4)民主主義への支持と選挙制度 (Part VI: Chapter 14 & 15)
- 第14章：制度と政治的支持の関係
- ・政治的支持：(1)民主主義の作動方式に対する支持、(2)外的有効性感覚、(3)政府と反対派の間のメカニズムに対する評価
 - ・マイクロ要因の検証
 - ①選挙で勝利した政党の支持者 → 高い政治的支持
 - ②経済状況を肯定的に評価 → 高い政治的支持
 - ③ある政党に一体感を持つ → 高い政治的支持
 - ⇒ほとんど有意
 - ・マクロ要因の検証
 - ①集団の便益や政策ポジションの代表性を重視する人 → 議院内閣制の方が高い政治的支持
 - ②代表性を重視する人 → PRの下で高い政治的支持 ⇔ 責任性を重視すると大統領制、SMD
 - ③政治的権利・市民の自由が制度化 → 高い政治的支持
 - ⇒GDP、不平等度、民族紛争を統制
 - ⇒しかし上記の要因に有意な結果は得られず
- 第15章：民主主義の年齢と政治的支持
- ・民主主義が定着している国家は民主主義に対する信頼が蓄積され、政治的支持が高い
 - ・政治的有効性(過去1年間の景気評価)と政治的支持の関係は新生民主主義国家でより強い
 - ⇒しかし大きな違いはない

結論：政治制度の影響

- 政治制度が個人の態度および行動に影響
- ・32の仮説のうち12が棄却
- 制度の影響力は有意であってもその影響力は限定的
cf) *"The electoral system matters, but not much."*
- 各結果の比較の困難さ
- ・ケースや操作化が異なるため一律に比較するのは困難
- 注目すべき結果
- ・PRは投票参加を促進するメカニズム内に存在する個人レベルでの政治的有効性感覚の確認 (Chapter 5)
 - ・選挙制度とは無関係に選挙区定数が戦略投票に与える影響を確認(Chapter 13)

コメント

- 本章はこれからの研究を要約し、かなり抽象的に説明しているためコメントするのは難しいであろうが、マクロ要因とミクロ要因の相互作用について非常に幅広い議論をしていると思われ、これからの内容が楽しみである。しかし交互項をモデルに入れる場合、変数は(マクロ要因の数-1×ミクロ要因の数-1)になり数が増える。CSESはケースが多いため変数が増えても大きな問題(レイプハルトの言う **many variables, small-N problem**)は起こらないと思うが、常に変数の数と必要なケースの数の関係は私自身が明確でない。
- また本書を読み通していないため何とも言えないが、マクロ要因をモデルと一緒に入れると内生性の問題が生じるのではないかと思う。例えば第12章では憲法、選挙制度、政党制というマクロ要因を考慮するがこれには独立変数間の内生性があると思う。